



わたしたちの日本一美しい村

2013

広報

しらかわ

9月号
No.506

原生林に囲まれた絶壁を流れ落ちる！
白山国立公園大白山園地「白水の滝」

県指定名勝である「白水の滝」は、大白山へ向かう県道白山公園線を10km程登った地点の展望台から眺めることができます。滝は、高さ72m・幅8mで、爆音を轟かせながら垂直に流れ落ち、その滝しぶきは水煙となって立ち上ります。その風景はここでしか見ることが出来ない「圧倒的な迫力」があります。また、流れ落ちた水が乳白色であることから「白水」と呼ばれ、「白川郷」という名前の由来になったとも言われています！

CONTENTS

| | |
|--------------------|----|
| 平成25年真夏の白川村成人式 | 2 |
| 祝敬老の日 長寿番付表 | 5 |
| 小型家電リサイクル法 | 7 |
| INFORMATION 暮らしの情報 | 12 |



the most beautiful
villages
in japan

祝 成人！平成25年

真夏の「白川村成人式」開催

涼しげな浴衣姿で「社会人としての覚悟」を誓う！



8月14日(水)平成25年「白川村成人式」が合掌造り民家園内の芸能堂で開催されました。村の成人式は、雪の多い1月を避け、若者たちがお盆休みで帰省する時期に合わせて行っており、今年は男性7人、女性6人の計13人が浴衣姿などで出席。成原村長をはじめ村議会議員、高殿・川上両県議会議員、新成人恩師ら55人が新成人の門出を祝いました。

式典では、新成人たちがそれぞれの近況を語った後、村長が式辞で「これからプロの社会人としての覚悟を持つことが大切。先人達の築いてきた白川村を次の世代に残していくため、誇りを持って一緒にこの白川村を築いていきたい」と激励。また、新成人を代表して岡田翔乃介さん(平瀬)は「応援してください。方々の期待に応えられるよう、社会人として常に向上心を持ち、前進する覚悟です。そして、成人としての決意を忘れず、白川村に誇りを持ち続け一生懸命生きていきます」と誓いの言葉を述べました。式典の終了後には、新成人を祝う記念コンサートとして



「中部フィルハーモニー交響楽団」による弦楽四重奏の演奏を楽しみ、最後の曲では白川中学校校歌が演奏され、新成人たちは懐かしみながら全員で校歌を合唱しました。

恒例となった新成人いりり談義では、成人式実行委員会の高島祐哉さんが司会を務め、実行委員らと一緒に「将来の夢・白川村を出て思ったこと・白川の良さ」など6つのテーマについて語り合いました。白川村を出て思ったことの話では「故郷には過ごしやすさ、温かさがある。あいさつをすると返ってくる。その当り前さが故郷の良さで誇りであり自慢ができる」と語ってくれました。

平成25年新成人者

二十歳の一行詩

(50音順・敬称略)

- 宇田健史朗(鳩谷)
- 大田 知佳(荻町)
- 岡田翔乃介(平瀬)
- 川田 健登(荻町)
- 本戸口ななみ(荻町)
- 高森 純豊(飯島)
- 福山 美緒(牧)
- 松古 佳倫(荻町)
- 三島 秀紀(荻町)
- 向 順規(飯島)
- 山越由紀子(平瀬)
- 吉脇 俊道(飯島)
- 和田 結希(荻町)

新成人になられた皆さんから一行詩をいただきましたので紹介します。

・減多には帰って来ないけど、帰った時には安心できる、そんな場所。ここで過ごしたことを忘れることはありません。(宇田健史朗)

・大人の仲間入り！けど遊びたい…じゃあ！いつ遊ぶか？今でしょ！(三島 秀紀)

・わがままな娘でごめん。いつもありがとう。離れて暮らしてみても都会に慣れたと思っただけど、やっぱり白川が一番だと思った。(山越由紀子)

・忙しい日々 ふっ…と思いつた故郷 家族の笑顔 展望台からの風景 そして仲間たち 明日もまた頑張ろう(和田 結希)

・父の白川想う心に感動。母の笑顔に心と和み。兄妹の優しさに支えられる。感謝、感謝、感謝。家族は偉大です。(松古 佳倫)

は更なる高みに向かいがんばります！目標はマスターテクニシャンです！(吉脇 俊道)

・物分かりも、覚えも、要領も悪く失敗ばかりで鈍臭く多大な迷惑をかけたのに根気強く使い続けてくださったのでありがとうございます。(福山 美緒)

・白川村民という自覚を持って自分なりにがんばります。(川田 健登)

・心の底からありがとうございます。大田家の笑顔がパワーの源です。みんなを笑顔にできる看護師になります。(大田 知佳)

・子は親を選べないのと同じで、故郷も選択できません。しかし、その両方に誇りを持つことができ、尚且つ胸を張って自慢できる存在だと言えます。恵まれた環境下にいるという事実には、感謝の言葉しかありません。母さん、二十年間ありがとうございました。後5年、時間をください。5年後に

・二十歳になって、色々な事を教わっていただきます。知らないことも教えてくださる方がいてくれるので本当にありがたいです。(高森 純豊)

・二十歳まで支えてくれた方、どうもです！今後

選手交代できるだけの息子に必ずなってみせます。(岡田翔乃介)

・白川を出てから「ふるさと」と呼べる場所があるのがうらやましいと言われることがよくあります。「ふるさと」に感謝。(木戸口ななみ)

・何も言わず、いつもわがままな僕をサポートしてくれてありがとう。いつになるかわからないけど、ちゃんと親孝行することが今の僕の夢です。(向 順規)



白川村・沖縄県読谷村子ども会交流会 **開催**

白川村子ども会では、昨年度より沖縄県読谷村子ども会との交流会をスタートしました。この交流会では、進んで人と関わる、伝え合い学び合うことを通して、子どもたちの自主性を育み、「ひとりだちした白川っ子」の育成を目指しています。今回は6年生から参加者を募り、7月26日～29日の4日間、計14名が読谷村交流会に参加しました。宿泊は、読谷村の子どもたちの家庭で民泊をさせていただき、海へ行ったり、沖縄の料理や言葉を教えてもらったりと、沖縄の生活を存分に味わうことができました。また3日目には、お互いの伝統芸能を披露する会が行われ、白川村の子どもたちは「こだいじん」を披露。地区ごとに順番に踊っていくことで、同じ村でも踊り方が違うことを伝えることができました。皆で一緒に踊った



沖縄の「エイサー」は、より一層交流を深め、最終日にはお世話になった家族との別れを惜しむ姿があり、この4日間が充実していたこと、家族の優しさに包まれていたことが、子どもたちの様子から伝わってきました。

次回は、2月に読谷村の子どもたちが白川村を訪れます。その時は、白川村の子どもたちの家庭で民泊をしてもらいます。雪深い白川村の冬を十分に味わってもらえると嬉しいです。

交流会に参加した子どもたちの感想文を一部紹介!

生まれて初めての沖縄は、海がとてもきれいで、思ったほど暑くはありませんでした。沖縄で食べた物は、沖縄そばなど初めて食べるものもありましたが、どれもとてもおいしかったです。民泊でお世話になることに少し緊張はありましたが、家族の皆さんはとても優しく明くて、帰りたくなかったです。僕が沖縄で1番印象に残ったことは、海のきれいさです。もう、他の海では泳ぎたくありません。もう1つは、戦争の悲惨さです。資料館で見た物は、今でもはっきり覚えています。僕たちは、平和で本当に幸せな時代に生まれたんだと改めて思いました。僕は、沖縄にまた行きたいと思いました。それと同じように、今度読谷村の子たちが白川村に来てくれたときに、「また来たい」と感じてもらえるように、家で時間も白川村での時間も、思いっきり楽しんで思い出に残る時間になるよう、色々考えておきたいです。本当に最高の沖縄でした。
(大塚 悠輝)

私が、読谷村子ども会との交流会を通して学んだことは、1人で家に泊まるのが最初は不安だったけど、しっかり最後の日まで家に泊まることができたことです。ペアの子と仲良くしたり、家族の人とも仲良くしたりできたので良かったです。沖縄の海は、すごくきれいだったので、泳げてとてもうれしかったです。民泊での自由行動では、ガラスのコップを作る体験をしました。少し暑かったけど、作ることはとても楽しかったし、きれいに作れたので良かったです。みんなで作った面シーサーは、難しかったけど、うまく作れたと思うので良かったです。民謡もしっかり踊れたし、エイサーも楽しく踊れたので良かったです。次に沖縄の子が白川村に来たときは、白川村のことをたくさん教えてあげたいし、楽しんでくれるようにがんばりたいです。
(前田真実子)

平成25年度 岐阜県学校保健研究大会を開催します

テーマ 「ひとりだちする子の育成」～保・小・中で取り組む望ましい生活習慣を目指して～



◆開催日 10月27日(日) 白川郷学園白川中学校体育館

今年度、保育園と小中学校では、子どもたちのより良い生活習慣を目指して、バランスの良い食事と生活のリズムについての指導を行っています。保育園ではペープサート、小中学校では学年に応じた授業を行い、1人1人が自分の生活を見直し改善できるよう支援しています。また、日々の生活についてチェックシートを使って見つめ直し、食事・家庭学習時間・起床就寝時間など、家族で改善できるよう取り組んでいます。